

『待機的経カテーテル大動脈弁置換術症例における術前位相角が術後1年死亡に及ぼす影響』 に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	経カテーテル大動脈弁置換術を受ける患者さんの手術前に体組成計で測定した位相角（細胞膜の健康度）の低さが手術後の予後と関連があるのか検討します。
研究の方法	身体計測・体組成情報、血液検査情報、手術に関わる情報等を電子カルテに記載されている情報を基に研究を行います。
対象者	2020年4月1日～2024年8月31日の間に、経カテーテル大動脈弁置換術を受けた方の中で、手術前に患者支援センターを受診した方
利用する試料/情報	① 臨床所見：年齢、性別、糖尿病の有無、慢性腎不全の有無、透析の有無等 ② 身体所見：体格指数、四肢骨格筋指数、握力、位相角等 ③ 血液検査所見：アルブミン、CRP、eGFR等 ④ 治療：全身麻酔の有無、カテーテルアクセスルート等 ⑤ 治療反応性・予後：合併症、在院日数、術後1年生存の有無
利用する試料/情報の取得方法	診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2026年2月28日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 栄養部/管理栄養士/島田里絵
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 栄養部/島田里絵